

揚州の見どころ

中国の大運河と共に成長してきた揚州には、2500年余りにわたる築城の歴史があり、名所旧跡が多く、「揚州園林甲天下」(揚州の庭園は天下に並ぶものなし)と称されています。人を魅了する風景に、世界各地から観光客が続々と訪れています。

瘦西湖

AAAAAクラス観光エリア

揚州の瘦西湖は国家クラスの風景名勝エリアであり、清の康熙・雍正・乾隆の三代の皇帝の治めた時代には既に湖上園林群が出来、南の麗しさ・北の勇猛さが融合し一体となっています。美しく淑やかに湾曲した湖水は青く、そこに徐園・小金山・五亭橋・白塔・二十四橋・万花園・双峰雲棧などの名園旧跡が連なっており、独特な艶やかさでその名は国内外に届いています。隋・唐の時代より、観光エリア内では庭園の建築が次々にされ、清の最盛期まで続き、康熙・乾隆の両皇帝が行った六回の南方視察により、「両堤花柳全依水、一路楼台直到山」(両側の堤防に植えられた花と柳は皆川面に沿って連なり、楼台から山まで続いている)と呼ばれる湖と山の競演を造り上げ、まるで順を追って展開されていく絵巻物です。



もっと詳しい情報はQRコードをスキャンしてください

大明寺

AAAAクラス観光エリア

南朝・宋の孝武帝の大明年間に建設が始まったため、大明寺と呼ばれています。境内には栖雲塔・平山堂・天下第五泉・鑑真記念堂などの名勝があります。1500年余りの間、幾多の栄枯盛衰を経ました。鑑真・李白・劉禹錫・白居易・晏殊、歐陽修・蘇東坡・石涛……数多の歴史上の文化著名人は皆、ここに足跡を残しています。



個園

AAAAクラス観光エリア



典型的な江南の個人庭園で、清の嘉慶年間に塩商人で兩淮(淮北及び淮南)の総商(塩税徴収の責を負う商人)であった黃至筠が、明の時代の寿芝園を基に増築したものです。主が竹をこよなく愛すること、かつ竹の葉の形が個(個)の字に似ていることから、個園と名づけられました。

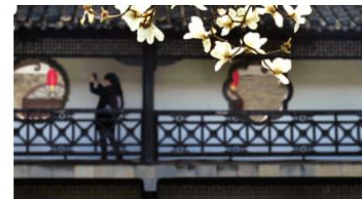
個園は石の積み上げ技術が有名で、筍石・湖石・黄石・宣石を積み上げて造った春夏秋冬の四季を表した築山は、庭園の泰斗である陳從周氏が「国内唯一と称賛されています。

何園

AAAAクラス観光エリア

またの名を寄嘯山荘といい、清の光緒年間に何芷舫が造ったもので、「清第一園」(清朝末期一の庭園)と称賛され、園内の片石山房は石を積み上げ造られた画家であった石涛の作品で、「人間孤本」(この世で随一)と称されています。

1500メートルに及ぶ復道(上下二重構造の道)回廊は、何園の中で最も特色ある建築であり、中国庭園の中でまたとないもので、「天下第一廊」(天下第一の回廊)の美称を誇っています。





運河三湾観光エリア

AAAAクラス観光エリア

運河三湾及び周辺の湿地風景を基に、土地に適した人文景観及びレジャー施設を設置した大型エコ観光地、総敷地面積は3800畝(ム一)あります。明の万歴二十五年(1597年)、当時の揚州知府(府知事)であった郭光復は、100メートル余りの運河の流れを湾曲させ1.7キロに変え、河の長さや湾曲度合を増やす方法で水位を調節して流れを緩やかにし、水上輸送の難題を解決して、古代運河水利プロジェクトでの重要な快挙を成し遂げました。



もっと詳しい情報はQRコードをスキャンしてください



もっと詳しい情報はQRコードをスキャンしてください

宋夾城スポーツレジャー公園

AAAAクラス観光エリア

宋の時代の揚州には「一地三城」(一つの地に三つの城がある)という言い方があり、うち宋夾城は宋大城と宝裕城の間にあり、軍需により修築され、他の二つの城を結びつける役割がありました。近年はスポーツレジャー公園に改築され、宋夾城の堀及びその両側にある独特な自然条件を利用し、元の生態の風景を残すことを特色とし、自然の風景とスポーツレジャー機能の一つに融合させています。



東関歴史文化観光エリア

AAAAクラス観光エリア

揚州を代表する最も歴史的な古い街であると同時に、中国でトップ10に数えられる歴史的文化で有名な街で、東は古運河の岸まで、西は国慶路まで伸びています。通りの両側には店が立ち並び、「四美・園」・「謝馥春香粉」・「大麒麟閣茶食店」などのような老舗は多くが百年以上の歴史を持っています。東関街にも多くの古跡文化財があり、個園・逸圃・汪氏小苑などもこの通りにあります。



漢陵苑

AAAAクラス観光エリア

蜀崗遺跡の南端に位置し、文化財と庭園が融合して一体となった陵園(陵墓を中心とした庭園)式博物館です。中央展示室で展示しているのは西漢の初代広陵王であった劉胥の墳墓であり、帝王クラスの「黄腸題湊(芯が黄色の柏の木で墓室の周囲を埋め尽くすように囲ったもの)」の木槨墓(もつかくぼ。中国の春秋時代から漢代までの墳墓の形式で、棺の周りを木材で取り囲んだ墓室を持つもの)は、広大な規模を誇り、構造は細部まで考え抜かれており、全国でも稀に見る大型漢代墳墓の一つであり、現代まで二千年余りの歴史を持っています。



茱萸湾景観エリア

AAAAクラス観光エリア

茱萸湾景観エリアは、東側に古代運河に面し、西側は大運河のそばにあり、自然な景色・人文景観・花・植物・動物の放飼いとショや現代的エンターテインメントの一つにした半島生態型動植物園です。



マルコポーロ フラワーワールド

AAAAクラス観光エリア

パークはマルコ・ポーロの摩訶不思議な東方への旅をメインテーマに、鑑賞・遊覧・飲食・ショッピング・娯楽・レジャーが一体となった総合的なフラワーカルチャーテーマパークです。

揚州双博館

AAAAクラス観光エリア

揚州中国木版印刷博物館と揚州博物館で構成され、館内には広陵潮一揚州の都市物語の部屋・揚州八怪の書や絵画の部屋・古代芸術の部屋・国宝の部屋・中国木版印刷の展示室・揚州木版印刷の展示室と臨時展示室などが設けられています。



孟城驛

AAAAクラス観光エリア

最初に建築されたのは明の時代の洪武八年(1375年)、高郵市南門の外に位置し、目下全国で最も大規模な、保存状態が最も良好な古代の宿場町です。

捺山地質公園

AAAAクラス観光エリア

儀征の月塘鎮に位置し、500万年余りの新生代の火山噴火によりできた火山口です。その近くでは壮観な石柱林だけでなく、完全な状態の火山地質構造及び国内外でも珍しい木・骨の化石群も見られ、これにより華東地区の科学価値は比較的高く、壮観な景色の地質遺跡です。

捺山地質公園は揚州では初の地質博物館を有し、その中でも720° 没入型体験館は音声や映像を組み合わせる方法で、宇宙の変遷や地球の変化を展示しています。

邵伯古鎮（昔の街）

AAAAクラス観光エリア

東晋の謝安からこの名前が付けられ、今から1600年余りの歴史を持っています。古い鎮(街)の中には運河・古い橋・古い埠頭・關野亭・鉄牛・謝公祠・条石街・甘棠樹などの古跡があり、近年は小龍蝦(ザリガニ)で有名になっています。

天楽湖旅行 リゾートエリア

AAAクラス観光エリア

天楽湖旅行リゾートエリアは儀征市月塘鎮に位置し、研修旅行・レジャー農業・温泉リゾート・エコツアー・療養養老の五つのエリアで構成されています。現在は全国レジャー農業の五つ星モデル企業・中国のドライブ旅行に選ばれる一番の目的地・中国医学漢方の健康旅行基地になっています。

陳園

AAAクラス観光エリア

揚州の北の郊外にある甘泉街道長塘村にあります。「揚州八怪」(中国、清の乾隆期に揚州を中心に富裕な塩商の経済力を背景として活躍した八人の文人画家)の一人である高翔の旧居を背景に、揚州文化・八怪の伝説に着想を得、徽派と揚派のスタイルを融合させた特色のある湖上庭園を建設しました。

紅山体育公園

AAAクラス観光エリア

儀征の棗林湾エコパーク内にあり、敷地面積は4200畝(ムー)、「天上飛、地上跑、水中游、林中宿」(空を飛び・地上を走り・水中で泳ぎ、林の中に泊まる)のアクティビティを集め一体化した、国内最大規模のマウンテンスポーツテーマパークであり、スポーツ愛好家たちからの人気も高く、親子で遊んだり・子供の体を鍛えるのにうってつけの場所でもあります。

文遊台

AAAクラス観光エリア

北宋の太平興国年間から建設が始まり、東山の山頂に建てられた高台建築であり、そこから周囲を見渡すと、自然の景色を一望の下に見渡せます。文遊台の名は、宋の時代、蘇軾(蘇東坡)が高郵に立ち寄った際に、孫覚・王鞏・秦觀などの文人とここで酒を酌み交わし議論を繰り広げたことからつけられました。

自在公園

AAAクラス観光エリア

南水北調プロジェクト(南部にある長江の水を北部にある黄河に引く国家プロジェクト)東ラインの源流に位置し、総敷地面積は19万平方メートル、公園内の林の面積は15万平方メートルで、江都の「都市の酸素供給地」と称賛されています。

宝応湖国家湿地公園 観光エリア

AAAクラス観光エリア

西は宝応湖寄り、東は京杭大運河を臨み、林に依り湖のそばで、美しい環境が広がっています。園内には134ヘクタールのメタセコイアの林が広がり、その中では常時140種余りの鳥が生息しており、うち国家第一種・二種保護指定の鳥が9種類おり、「蘇中第一森林大氧吧」(江蘇省一の森林酸素バー)と称えられています。

